

**質の高いOTC48販売
をめざして！**

薬局・ドラッグストアにおける症候別トリアージ ーレッドフラッグサインを見逃すな！ー

思考のエラーを回避せよ！

総合診療医・感染症コンサルタント (MD, MPH, PhD)

岸田 直樹

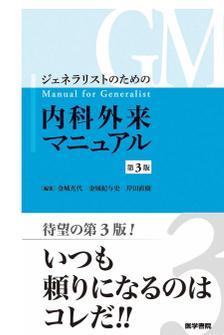




自己紹介

- 北海道函館市生まれ
- 東京科学大学（旧東京工業大学）理学部中退、旭川医科大学卒業
- 手稲溪仁会病院で初期研修 + **総合内科フェロー**、**手稲－ハワイ医学教育フェロー**修了
- 静岡がんセンター**感染症科フェロー**修了
- 手稲溪仁会病院 総合内科・感染症科 感染症科チーフ兼感染対策室室長をへて現職
- 総合内科専門医、日本感染症学会専門医・指導医、日本化学療法学会抗菌化学療法指導医、ICD（インфекションコントロールドクター）
- 感染症学会 / 化学療法学会感染症治療ガイド / ガイドライン2014作成ワーキンググループ委員（気道感染症 / 中耳炎・副鼻腔炎）
- **プライマリ・ケア連合学会 感染症委員会委員**
- **東京都病院薬剤師会 特別委員（薬学臨床推論）**
- **北海道科学大学薬学部客員教授（薬学臨床推論）**
- **東京薬科大学客員教授（薬学臨床推論）**
- **日本医療大学非常勤講師（検査学臨床推論）**
- **北海道大学医学部保健科学院（看護学）**
- **旭川医科学大学医学部非常勤講師**
- **北大公衆衛生修士修了（MPH：感染症疫学 / 人口学）**
- **北海道大学CoSTEPフェロー（上席客員研究員）**

患者ひとりひとりのその瞬間を大切にした
タスクシフト / シェア
多職種チーム医療学



ご意見ご感想 E-mail: kiccy1975@gmail.com

症例

• 30代男性@薬局・DS

喉が痛くて

仕事が忙しくて休めなくて、よく効く風邪薬が欲しいんだけど...



どうしますか？

症例

• 20代男性@薬局・DS

7日前にコロナになって、熱とか喉の痛みは良いんだけど、咳がつかなくて...



どうしますか？

OTC対応の現場≒救急・総合診療外来

症例

50代女性 主訴：頭痛@薬局・DS



今朝起きたときから頭が痛いんです。様子を見たけど、段々痛くなってきたから、なんか効く薬が欲しいわ。

どうしますか？

“セルフメディケーション推進” に向けて大切なこと

薬剤師も判断エラーを最大限に回避し

患者さんひとりひとりの声を聴く
“対人力”を身につけよう！

質の高いOTC48販売
をめざして！

薬局における症候別トリアージ
ーレッドフラッグサインを見逃すな！ー

思考のエラーを回避せよ！
(45分)

臨床における意思決定の考え方



薬学臨床推論

ー新たな医療者の時代へー

訴えにどう耳を傾け、不安の支えになる、また来たいと思われる薬剤師に

総合診療医・感染症コンサルタント (MD, MPH, PhD)

北海道科学大学・東京薬科大学客員教授 (臨床推論)

岸田 直樹



臨床推論とは？（広義）

- 患者さんひとりひとりが抱える臨床的諸問題を解決する際に、どのように考え、アプローチするか？
- 目的（意思決定の場面）ごとにどのような情報を収集し、どう考えるか？の意思決定支援の考え方
- “感度・特異度、ベイズ、仮説演繹法、バイアス、**レッドフラッグサイン**”などの考え方を利用
- 薬剤師においても、**受診が必要か？**、薬の量は適切か？、治療効果は？などを**思考のエラーを最大限回避**し、可能性と妥当性交えて考えることができる
- その過程を自分の言葉で上手に**伝え、意思決定につなげる**
(診断をすることという意味の場合には別に“診断推論”という言葉がある)

薬剤師の場合では上記のような形で活用できる

臨床推論 3つのプロセス

Process 1 : 情報収集

目的（意思決定の場面）に応じたツールの活用（網羅的情報収集・分野ごとの効率的効果的ツール、OPQRST）、患者とその周辺の思い・考え

“きく、よむ、つなぐ”
の

Process 2 : アセスメント

収集した情報から今事象に関連する情報を抽出し、病態生理を踏まえて目的別にベイズを使用し、思考のエラーを最大限回避し、可能性と妥当性の側面で解釈する



Process 3 : 方針

各職種の専門性をいかして患者の方針を立てアクションをおこす（上手な医療者コミュニケーション、患者家族への説明）

質の高いOTC48販売
をめざして！

薬局における症候別トリアージ
—レッドフラッグサインを見逃すな！—

思考のエラーを回避せよ！
(45分)

来局者さんの各症候に対応できるように

話を聞こう！

とは思ったけど、、、

いったい

“どういうとき”に

“どういう情報”を

“どういうふう”に収集し

薬剤師として“どう解釈・判断し”

“どのように伝えたら”

いいのだろうか・・・

“きく、よむ、つなぐ”
の

ここの専門職としてのスキル、**臨床推論**を身に着けよう！₈



- 30代男性@薬局

喉が痛くて
仕事が忙しくて休めな
くて、よく効く風邪薬
が欲しいんだけど…



OTC or 受診勧奨？

その判断エラーを最大限回避！

質の高い医療・セルフメディケーション対応⁹

医療は大きく進歩 質の高いOTC販売へ



厚生労働省 医政局長賞
優秀賞

論理的・科学的にスキルとして学ぶ

厚生労働省 医政局長賞

民間団体部門 優秀賞



プロジェクト

風邪はセルフケア!
薬局・ドラッグストアで相談しよう!

受賞者

一般社団法人 Sapporo Medical Academy

所在地 北海道札幌市

電話 090-4879-3271

URL <https://kiccysma.wixsite.com/smaweb>

E-mail kiccy1975@gmail.com

取組の経緯

みんなで関わろう!体調不良時の相談先は薬局・ドラッグストアも選択肢に!

- 未曾有の少子高齢化・人口減少を迎え、医療費の高騰や医療者のマンパワー不足など早急に対処しなくてはならない大きな課題が医療現場にはたくさんあります。
- 日本は医療アクセスが非常に良く、故に医療機関を気軽に受診できる「コンビニ受診」が起きやすい環境です。
- 風邪を代表に、セルフケアとしてOTC医薬品での対症療法のみで対応可能な疾患群でも医療機関を受診し、患者さんであふれかえり、医師を含まない医療従事者からなる医療現場の負担となるだけでなく、医療費の高騰などにもつながっているのが現状です。
- さらにこのような医療現場では診療時間も十分にとられないことも多く、薬に関する説明や健康管理に関する相談にも十分に対応できないことが多くなっています。
- 体調不良時などに何でも医師、何でもクリニックや病院で対応するのはではなく、薬局やドラッグストア、在宅現場などでも医師以外の多職種で対応する全員総力戦でのサポート体制がより重要となっています。
- 国民の安心・安全のためにも、セルフケアを担当する医療従事者の医療の進歩に合わせた適切な教育が重要です。

事業の概要と特徴

セルフケアをサポートできる医療者に必須のスキル「臨床推論」を学ぼう!

1. 患者さんの症状からセルフケア可能な状態かを判断するための「臨床推論」を学びます
患者さんの症状からアプローチする医療従事者になるためには臨床推論の知識・技術が必須です。OTCで対応可能な疾患群の知識の習得に加え、緊急性のある病態の判断など受診動向のタイミング(レッドフラッグサイン)を見逃さないための考え方を習得します。「総合診療医が教えるよくある病に悩むその症状」(じぼろ)、「薬学管理に生かす臨床推論」(日経BP)をテキストとして作成。
2. 臨床推論を駆使して的確に患者情報を医師に「伝える方法」を習得します
患者の状況をどのように医師など医療従事者どうして伝えるか?は受診動向とする場合などチーム医療において在宅などでも必須のスキルです。臨床推論により考えた医療従事者のアセスメントを医療従事者どうして伝えるコミュニケーションスキル、ディスカッション法を学びます。
3. セルフケアの大切さを伝える学びの場を地域で提供できるようになるスキルを習得します
今後、自分たちでセルフケアをサポートする医療者になる為の学びを地域で運営できるようになることが重要です。レクチャーやケースカンファレンスのスキルなど、社内や地域の薬局・ドラッグストアで臨床推論の知識・技術を提供できるようになるためのノウハウを学習します。



セルフケアの臨床推論テキスト

医療のかかり方を変えていくポイント

日本が迎える社会背景に合った新しい医療の形をみんなで創っていこう!

- 薬剤師や医薬品登録販売者だけでなく、在宅などセルフケアで対応可能な患者の症状に関わる現場にいる医療従事者にこの教育カリキュラムをさらに広げ、対応することができれば、日本が迎えている未曾有の少子高齢化人口減少社会に医療の側面から立ち向かうことができると考えます。
- このカリキュラムがセルフケアに関わりうるすべての医療従事者の新しいスキルとなるよう活動していければと思います。臨床推論は新しい時代のチーム医療の共通言語(コミュニケーションツール)になると考えます。
- さらに、一般市民への風邪を中心としたセルフケア教育へと広げていくことが重要だと考えます。例えば風邪や関節炎はセルフケア疾患であり、それを判断する中心は一般市民一人一人なのです。
- 今後、風邪症状を中心としたセルフケアの方法、特に医療機関の受診のタイミングを義務教育の一つのカリキュラムとして構築していきたいと考えます。
- この活動は、「上手な医療のかかり方」をサポートすることにつながり、医療負荷や医療費問題に貢献します。さらに、抗菌薬処方も減らし新型コロナウイルスとともに感染症の脅威とされる耐性菌対策にもつながると考えます。

民間団体部門
優秀賞



しかし、そこへの
“適切な**教育**”が必要！

そこが医療者の中でも
大きな違いに



セルフケア・受診勧奨 臨床推論 (専門職の職能)

“質の高い”セルフメディケーション対応 で大切なこと

レッドフラッグ

- **受診勧奨**のタイミングを見逃さない！
- **副作用**を起こさない！（早期発見対応）
- 効果の**エビデンス**を知る！

厚生労働省 医政局長賞 民間団体部門 優秀賞

上手な医療の
かかり方アワード

風邪はセルフケア！
薬局・ドラッグストアで相談しよう！

受賞者
一般社団法人 Sapporo Medical Academy

所在地 北海道札幌市 電話 090-4879-3271
URL <https://kiccysma.wixsite.com/smaweb> E-mail kiccy1975@gmail.com

医政局長賞
優秀賞

取組の経緯
みんなで関わろう！体調不良時の相談先は薬局・ドラッグストアも選択肢に！



良くある“訴え”を知る

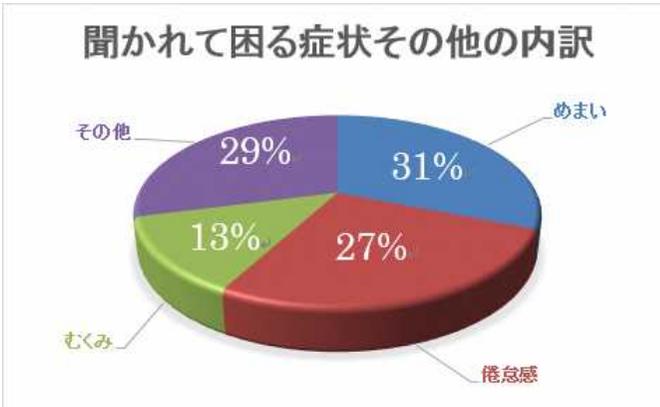
よく聞かれる症状		
1位	かぜ	23.0%
2位	鼻水	10.7%
3位	咳	9.9%
3位	関節痛	9.9%
5位	便秘	9.2%
6位	下痢	8.7%
7位	腰痛	7.3%
8位	腹痛	6.1%
8位	咽頭痛	6.1%
10位	めまい	4.6%
11位	倦怠感	2.6%
12位	むくみ	1.9%



気になる“訴え”を知る

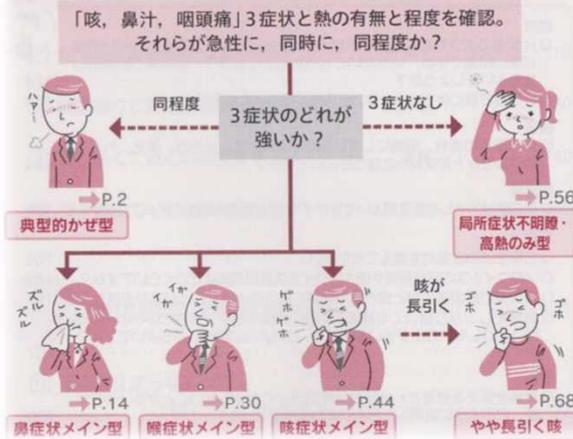
聞かれて困る症状		
1位	めまい	17.7%
2位	倦怠感	15.5%
3位	関節痛	13.3%
4位	かぜ	11.0%
5位	むくみ	7.7%
5位	腰痛	7.7%
7位	下痢	7.2%
8位	便秘	5.5%
9位	腹痛	5.0%
10位	咳	4.4%
11位	ほてり	3.3%
12位	咽頭痛	1.7%

現状の把握



- 211人の薬局薬剤師に調査
- 薬局で聞かれる症状に関してアンケート

かぜ様症状を訴えたら？



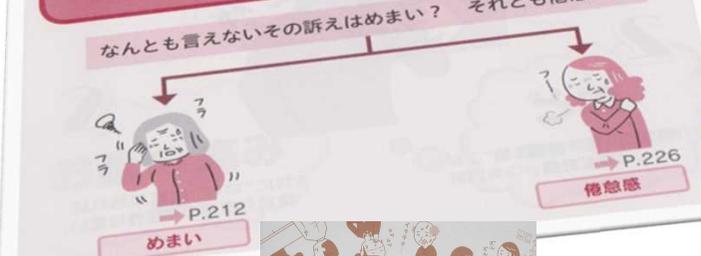
痛みを訴えたら？



消化器症状を訴えたら？



なんとも言えない体調不良 (不定愁訴) を訴えたら？



総合診療医が教える

よくある気になるその症状

レッドフラッグサインを見逃すな！

岸田 直樹

OK 活用

じほう

上手な医療の
かかり方アワード

厚生労働省 医政局長賞
優秀賞

これならわかる！総合診療医が教える

医薬品登録販売者・薬局薬剤師
のための臨床推論

セルフケアサポート

在宅・高齢者施設

一般社団法人 Sapporo Medical Academy

代表理事 岸田 直樹

1、風邪シリーズ

1-1	典型的風邪型	本当に風邪って言うていいの？自信はある？
1-2	鼻症状メイン型	対症療法で大失敗
1-3	喉症状メイン型	それ緊急疾患です！肺炎かどうか難しい
1-4	咳症状メイン型	補講：咳がなかなかとれなくて(慢性咳嗽)
1-5	消化器症状メイン型	おなかの風邪へのアプローチ

2、痛みシリーズ

2-1	腹痛へのアプローチ
2-2	頭痛へのアプローチ
2-3	腰痛へのアプローチ
2-4	関節痛へのアプローチ

3、聞かれて困る症候シリーズ

3-1	「熱っぽくて」	発熱へのアプローチ
3-2	「最近むくみが気になって」	浮腫へのアプローチ
3-3	「ふらふらして」	めまいへのアプローチ
3-4	「だるいんです」	全身倦怠感へのアプローチ

4、その他 (意思決定支援など)

4-1	臨床推論ってなんだろ？ 患者情報の収集法と医師への伝え方 ワンセンテンスサマリーの作成方法
4-2	医薬品登録販売者・薬剤師にも知ってほしい、バイタルサインとその解釈
4-3	感染症に関わる意外にある勘違い？ - 耐性菌って汚いの？ -
4-4	どこまでやる？の感染対策 - 感染対策上重要な耐性菌の感染対策
4-5	インフルエンザ・ノロウイルスの正しい知識を持とう！ 診断・治療から感染対策まで
4-6	病院内、在宅、高齢者施設での発熱に強くなる - 感染症から非感染症まで -
4-7	「血圧が高くて心配」は本当に心配か？
4-8	医師の臨床推論にチャレンジ！ 見た目軽、症実は重症を見抜く！

セルフメディケーションをサポートする！

薬剤師のための風邪の診かた

風邪のスペシャリストに！

総合診療医・感染症医
東京薬科大学/北海道科学大学客員教授
(MD、MPH、PhD)
岸田 直樹



16

症例A

特に基礎疾患の無い28歳男性。昨日朝から軽度咽頭痛あり。夕方から37℃後半の微熱認めた。今朝から咽頭痛はやや改善傾向あるも、微熱・鼻汁に加えて咳もあるため受診。

<咽頭所見>

咽頭軽度発赤(+)、心肺異常音なし、咽頭後壁リンパ濾胞(+)。頸部リンパ節触知されず。



風邪ですか？

次の症例は風邪ですか？

Discussion

Q1. 風邪か風邪でないか？

Q2. その理由は？一行で



症例B

36歳女性、5日くらい前から咽頭痛、咳、鼻汁、微熱有り。咽頭痛ははじめは嚥下時痛で翌日には改善したが咳と鼻汁は続いていた。本日仕事中に悪感有り。熱をはかると39℃あり受診。鼻汁はまだある。喉は嚥下時痛ではなく咳をすると痛い。熱が出ると節々も痛い。

<身体所見>

少しつらそう、体温39.0℃、咽頭発赤軽度あり、白苔付着なし、腫脹なし、心・肺雑音なし、頸部リンパ節触知されず

風邪ですか？

カンではなく
論理的・科学的にスキルとして学ぶ
そのためにも…

風邪症候群とは？

風邪とは？

「自然によくなる、ウイルス感染症で多くは上気道感染のことを言う」

*ウイルス性上気道感染

*ウイルス性胃腸炎(おなかの風邪・腸感冒)

ウイルス性髄膜炎(頭の風邪?)
 ウイルス性肝炎(肝臓の風邪???)
 ウイルス性心筋炎(心臓の風邪???)

風邪症候群とは？

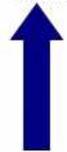
実際の診療では、

「かぜと思うのだけれど」

といて受診しうる疾患群を包括的に考える必要がある。

風邪症候群の病型

前編



1. 典型的“風邪”型(咳≒鼻汁≒咽頭痛)
2. 鼻症状メイン型(鼻汁>咳、咽頭痛)
3. 喉症状メイン型(咽頭痛>咳、鼻汁)
4. 咳症状メイン型(咳>咽頭痛、鼻汁)
5. 局所不明瞭・高熱のみ型(熱+α, α≒0)
6. 微熱・倦怠感型(倦怠感+熱)
7. 消化器症状メイン型(消化器症状+熱)
8. 頭痛症状メイン型(頭痛+熱)
9. 関節症状メイン型(関節痛+熱)
10. その他:発疹型...

後編

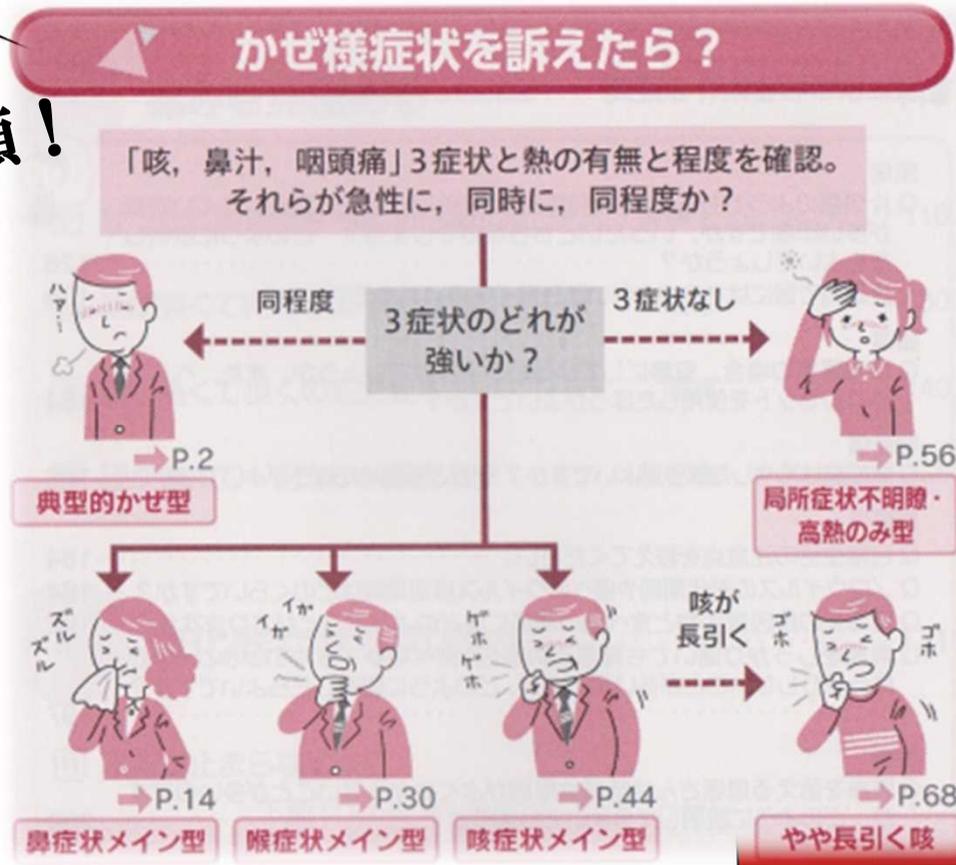
1-4: 米国内科学会(ACP)
 「成人急性呼吸器感染症における抗菌薬適正使用に関する原則」

Ann Intern Med. 2001



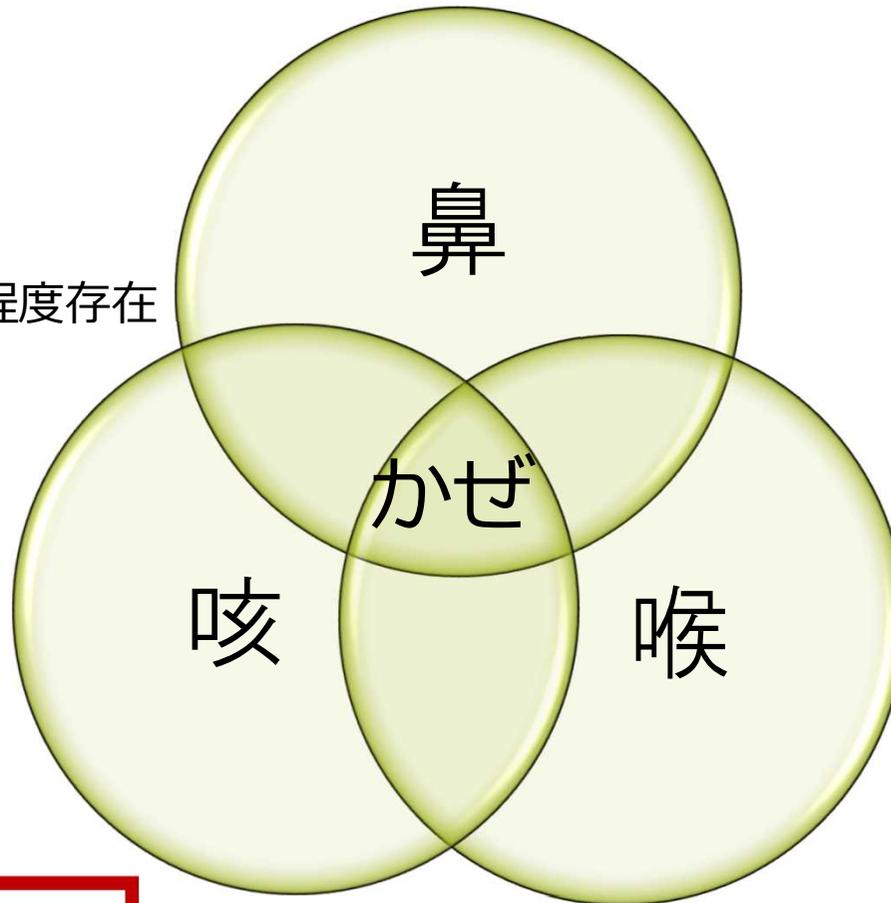
1. 典型的“風邪”型

ツールを利用し
風邪症状を丁寧に分類！



かぜ 3 症状チェック！ イメージ図

- 3 症状が急性に同時期に同程度存在
- 数日の経過でそろそろ
- 喉→鼻→咳
- 最低 2 つ
- 鼻が大切



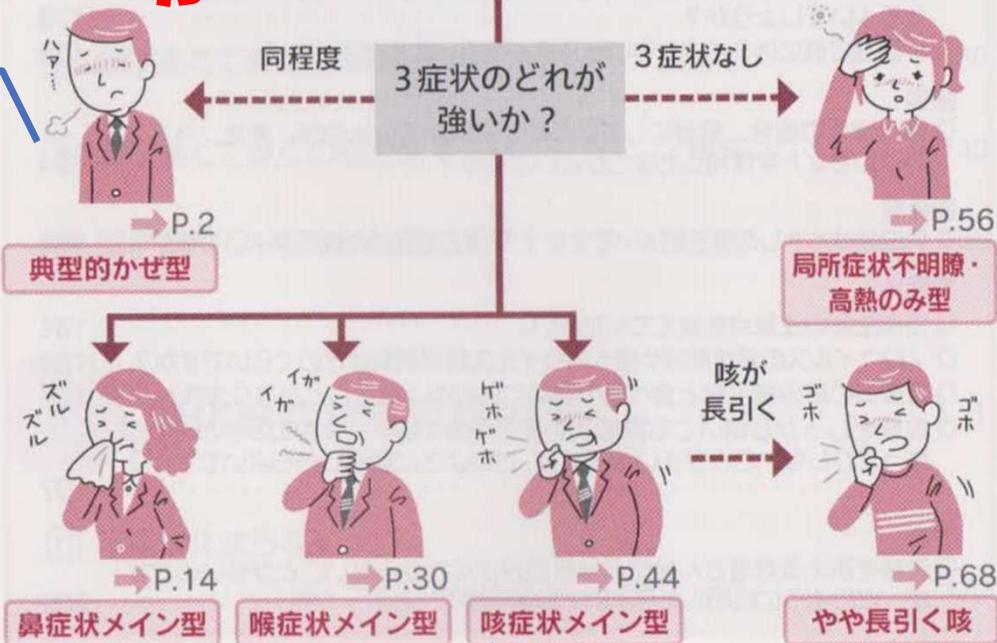
3領域にわたる多彩性は
発熱の有無に関わらずウイルス感染の特徴



かぜ様症状を訴えたら？

「咳、鼻汁、咽頭痛」3症状のどれか有無と程度を確認。
 どの症状も同時に、同程度か？

かぜの3症状チェック!



ウイルス性
上気道炎
(かぜ)

セルフケアに対するアプローチ

良くある“訴え”を知り



① 良性疾患の十分な知識

② レッドフラッグサイン

ウイルス性
鼻炎
(かぜ)

細菌性副鼻腔炎

ウイルス性
咽頭炎
(かぜ)

溶連菌性咽頭炎

ウイルス性
気管支炎
(かぜ)

肺炎

感冒後咳

結核
肺がん

Step 1-3 喉が痛くてつらいです
レッドフラッグサインを見逃さない！
喉症状メイン型のかぜへのアプローチ

「咳，鼻汁，咽頭痛」3症状の有無と程度を確認
それらが急性に，同時に，同程度か？

喉症状 > 咳症状，鼻症状

レッドフラッグサイン

喉症状メイン型のレッドフラッグサイン

- ・Centorの基準で3点以上(特に白苔がある場合)
- ・ご飯が食べられないほど喉が痛い
- ・開口障害がある
- ・呼吸苦がある
- ・喉の痛みが嚥下時痛ではない場合
- ・突然発症の喉の痛み

- ・Centorの基準でハイスコアは，A群溶連菌性咽頭炎を！
- ・開口障害や呼吸困難は，扁桃周囲膿瘍，急性喉頭蓋炎などの可能性あり，緊急での受診を！
- ・突然発症の場合は大動脈解離，心筋梗塞，クモ膜下出血など心血管系のイベントの可能性も。

受診勧奨を！

このレッドフラッグサインを用いて，今後の注意事項として受診のタイミングを説明すること。「現時点では緊急のサインはなさそうですが，今後このような症状が出ないか注意してください。出てくるようでしたら医療機関を受診してください」と説明するとよい。



【レッドフラッグサイン】

- 「重篤な疾患を疑うサイン」を意味する言葉として医師の間で使われてきました
- 疾患の診断が目的ではない薬局・ドラッグストアでは、**医療機関を受診させたほうがよい徴候、医師に伝えるべき徴候**として捉えることができます
- 患者の症状や訴えを通じてレッドフラッグサインの有無をよく確認し、**受診のサインを見逃さない**ようにしましょう

「咳，鼻汁，咽頭痛」3症状の有無と程度を確認
それらが急性に，同時期に，同程度か？

咳症状 > 鼻症状，喉症状

肺炎の可能性を見極める

- 【38℃以上の発熱あり】
・悪寒戦慄があるか？
・2峰性の病歴があるか？
- 【38℃以上の発熱なし】
・高齢 or 肺に基礎疾患があるか？
・寝汗があるか？

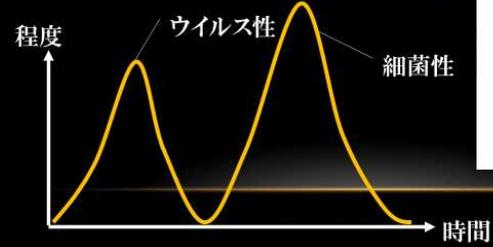
- 咳症状メイン型のレッドフラッグサイン
- ・38℃以上の発熱が数日続く，食事がとれない
 - ・心疾患のある人(高血圧のみは除く)
 - ・10日間以上咳が続くとき(喉症状メイン型を参照)
 - ・咳をすると胸が痛む，呼吸が苦しい，血痰が出るなど
 - ・Diehrの基準で4点以上

こんな症状があったら，肺炎，菌血症の可能性あり
受診勧奨を！

細菌性を疑う場合に臨床的に極めて有用な病歴

2峰性の病歴

これが「風邪(ウイルス性)」をこじらせた(細菌性)場合？



症例B

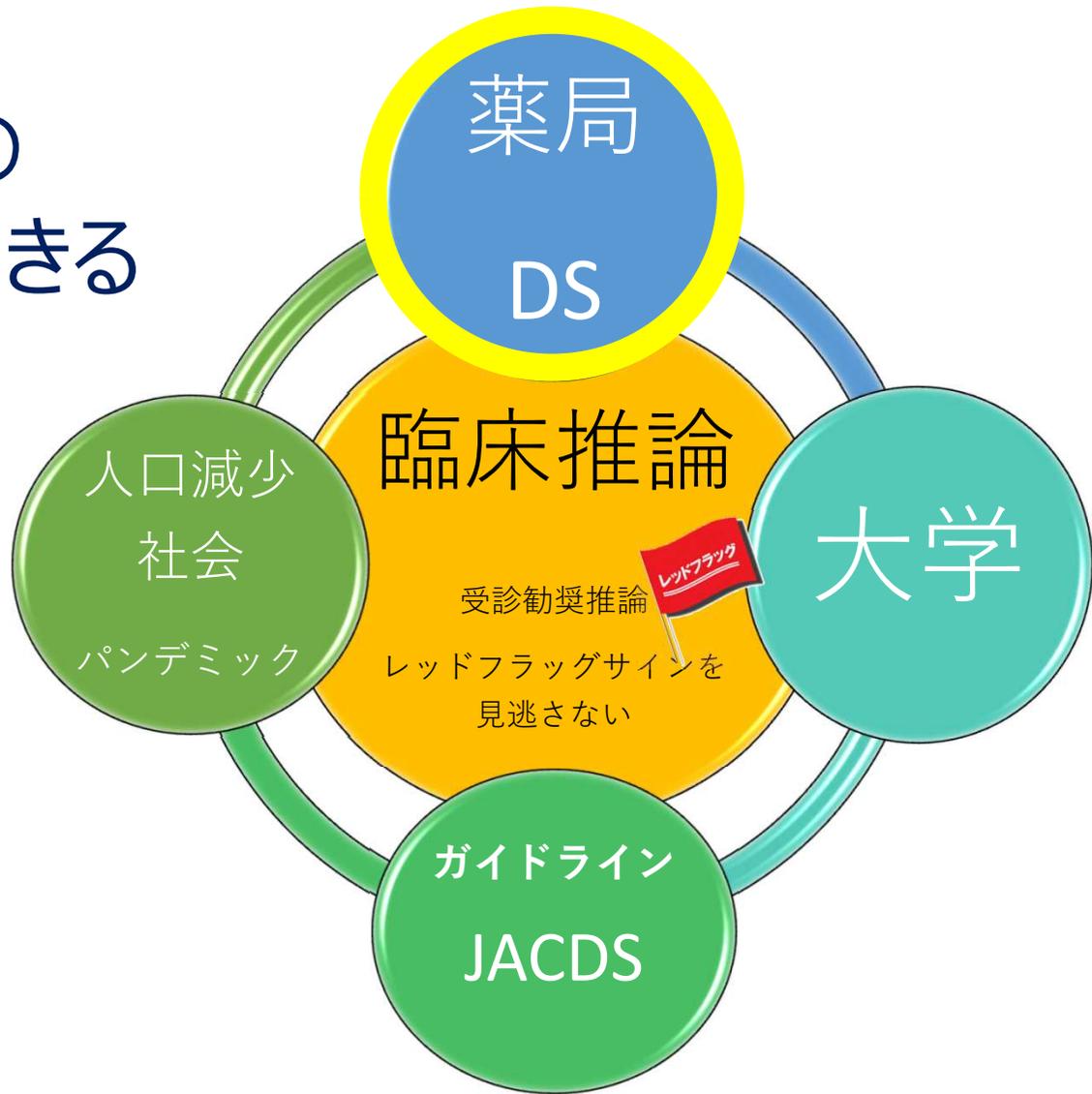
36歳女性，5日くらい前から喉痛，咳，鼻汁，微熱あり，咽頭痛ははじめは唾下時痛で翌日には改善したが咳と鼻汁は続いていて，本日仕事中に悪化有り，熱を伴う咳と39℃あり発熱，鼻汁はまたある，喉は唾下時痛ではなく喉痛となり，熱が出る回数も頻い。

<身体状況>
少しづつ，体温38.5℃，咽頭発赤程度あり，白血球数なし，心臓音正常，胸部レントゲン陰性

22 風邪ですか？



“質の高い” 人としての セルフケアサポートができる 医療者教育



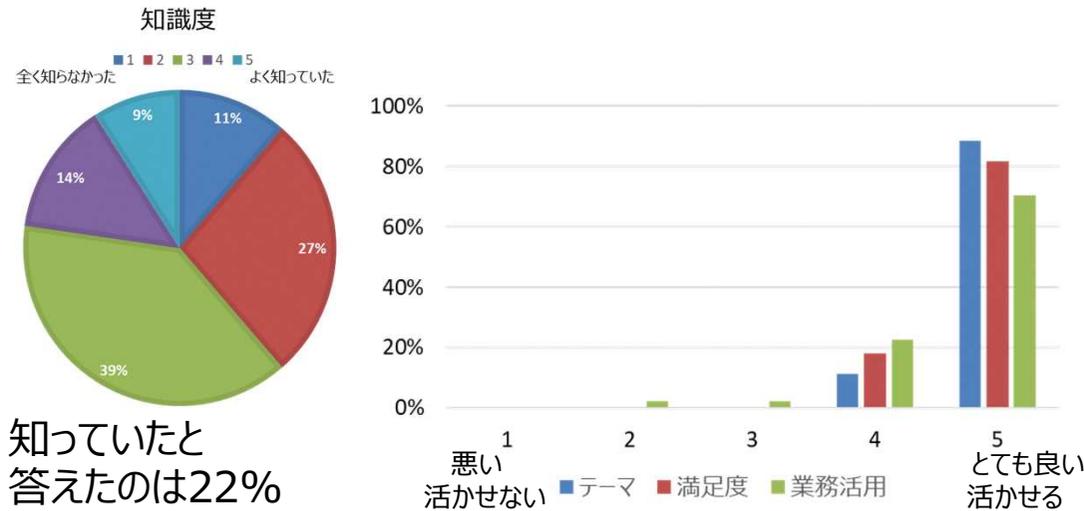
事業概要：薬局におけるセルフケア症候学研修

2016年1月17日：第14回かながわ薬剤師学術大会

【背景・目的】

- 2025年問題（社会保障費急増）を見据え、**薬局・薬剤師が生活者のセルフケアを後押し**する体制づくりが急務
- 生活者の軽度な不調に対し、適切な病歴聴取・OTC販売・受診勧奨を行うため、症候学（OPQRST+レッドフラッグサイン）を実践的に習得する研修を企画

項目	内容
主催	中区薬剤師会（講師：総合診療医 岸田直樹）
形式	5回シリーズ（痛み編） 頭痛／腹痛／腰痛／関節痛／その他の痛み
方法	講義＋症例検討＋OPQRSTシート実習
参加	薬剤師 44名



知っていたと答えたのは22%

- **テーマ・満足度**が良いはほぼ100%
- **業務活用可能**が93%：調剤で実践の場がない

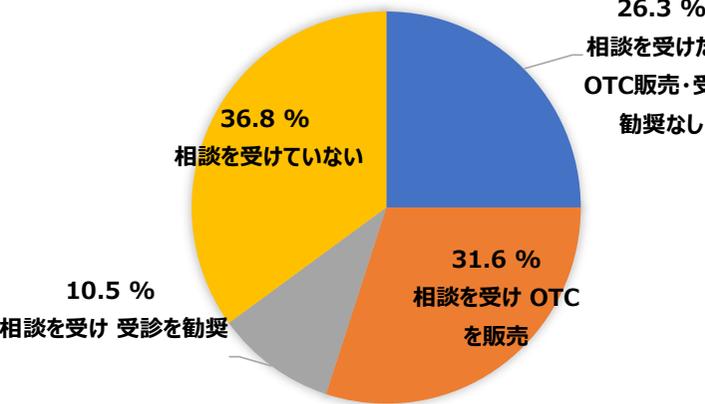


事業概要：薬局におけるセルフケア症候学研修

● **63.2 %** (24/38) の薬剤師が風邪相談を経験している薬剤師対象

薬剤師 48名

直近1か月の風邪相談

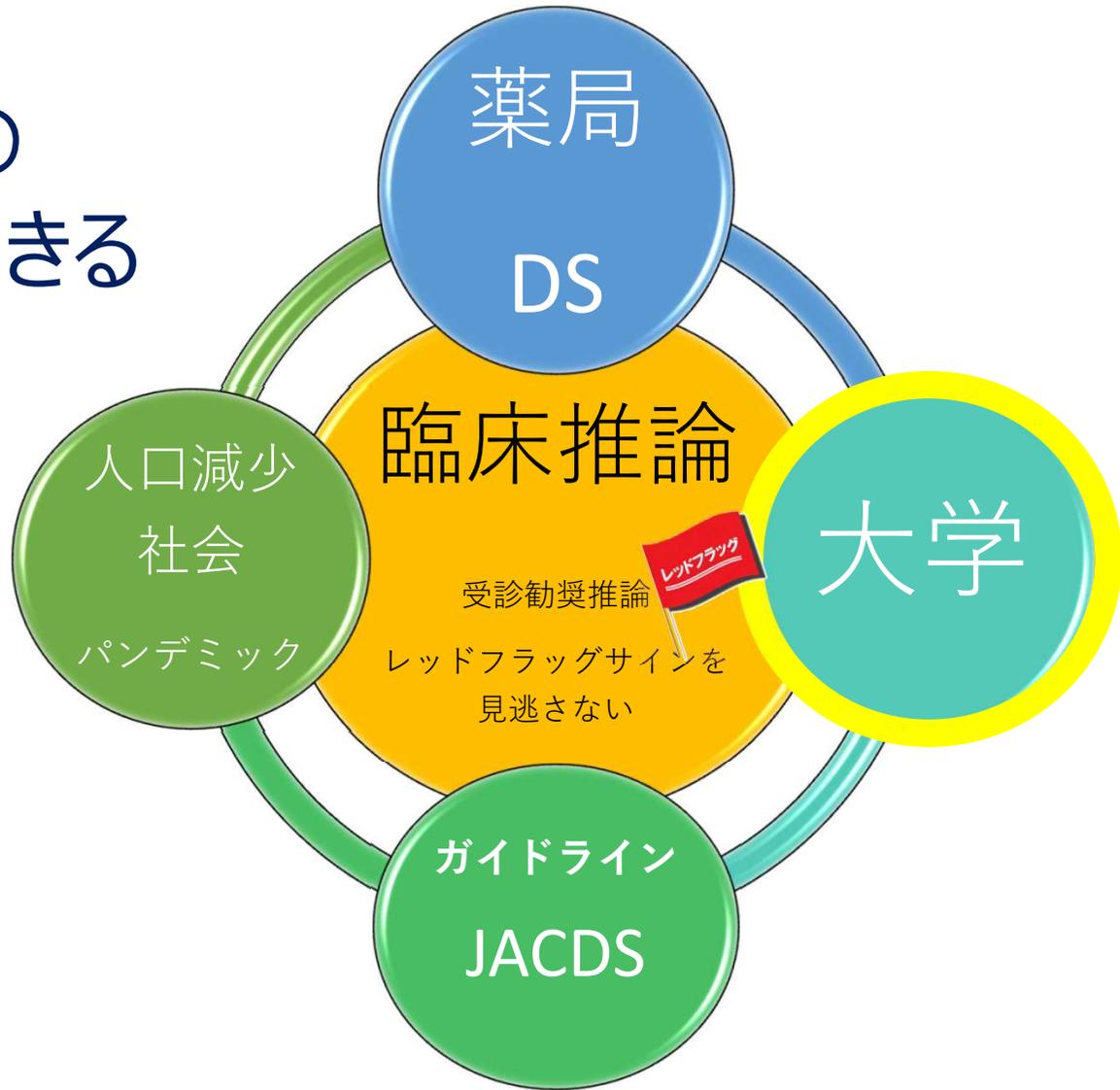


主なキーワード	出現頻度	代表的コメント（要約）	向上インパクト
分かりやすい／明快	14	「非常にわかりやすく示唆に富む」「風邪の診方がクリアになった」	① 研修内容の 理解度・納得感 を担保
実践的／すぐ使える	13	「明日から役立てたい」「生きた、すぐに役立つ勉強会」	② 現場適用による 患者対応力向上
視点が変わった／感動	10	「風邪の考え方が変わった」「抗菌薬処方が多さに気付いた」	③ 適正使用・抗菌薬耐性対策 への気付き
インタラクティブ（ディスカッション・問いかけ）	7	「考える時間が持てて良かった」「問い形式で整理できた」	④ 主体的学習・臨床推論力 の養成
継続希望・次回参加	9	「次回も期待」「1年間よろしく」	⑤ 継続教育プログラム へのニーズ
追加要望（問診のコツ・感度/特異度・復習等）	6	「問診をもっと学びたい」「実例を増やしてほしい」	⑥ カリキュラム深化 へのフィードバック

ポジティブコメントが**約 90 %** を占め
特に「分かりやすさ」「実践性」が高評価



“質の高い” 人としての セルフケアサポートができる 医療者教育



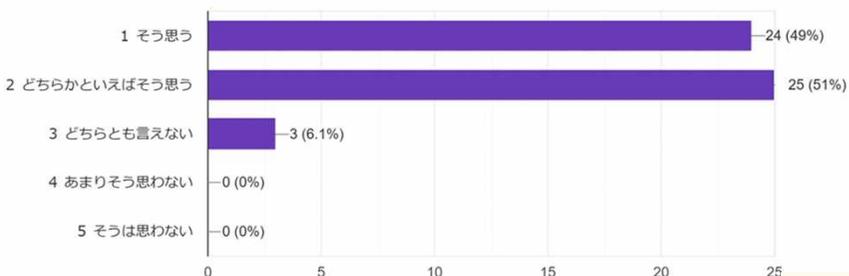
大学における セルフケア教育 (4年次)

49名より

特に感想の記載のところの学生の声をたくさんいただきました

授業に意欲的に取り組むことができましたか？

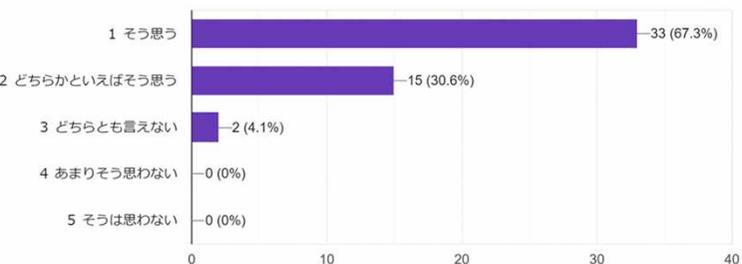
49件の回答



- 1, 2 を合わせてほぼ100%。
- 3名が「3 どちらとも言えない」：2名が複数選択し、ボタンの押し方を間違いかも
- 3を選んだ、それぞれの感想は
 - ・面白い授業でした
 - ・風邪とは何か。いざ聞かれると答えが出てきませんでした。
 - ・話し合う時間が多くて楽しかったですし、話し合いをしたという記憶が残るため講義の内容が頭に入りやすかったです。
 - ・薬局であれドラッグストアであれ、**薬剤師に求められる能力の変化**を感じました。

薬剤師になるに向けて、授業の内容は興味や関心が持てるものでしたか？

49件の回答



講義の感想



大変わかりやすく楽しかった



有益な議論・対話ができ



興味深く実践的な内容だった



よく用いられる概念が理解できた



臨床推論の重要性を再認識した



改善を求める意見や不満がある

改善を求める意見や
不満がある



さらなる事例の紹介を希望する

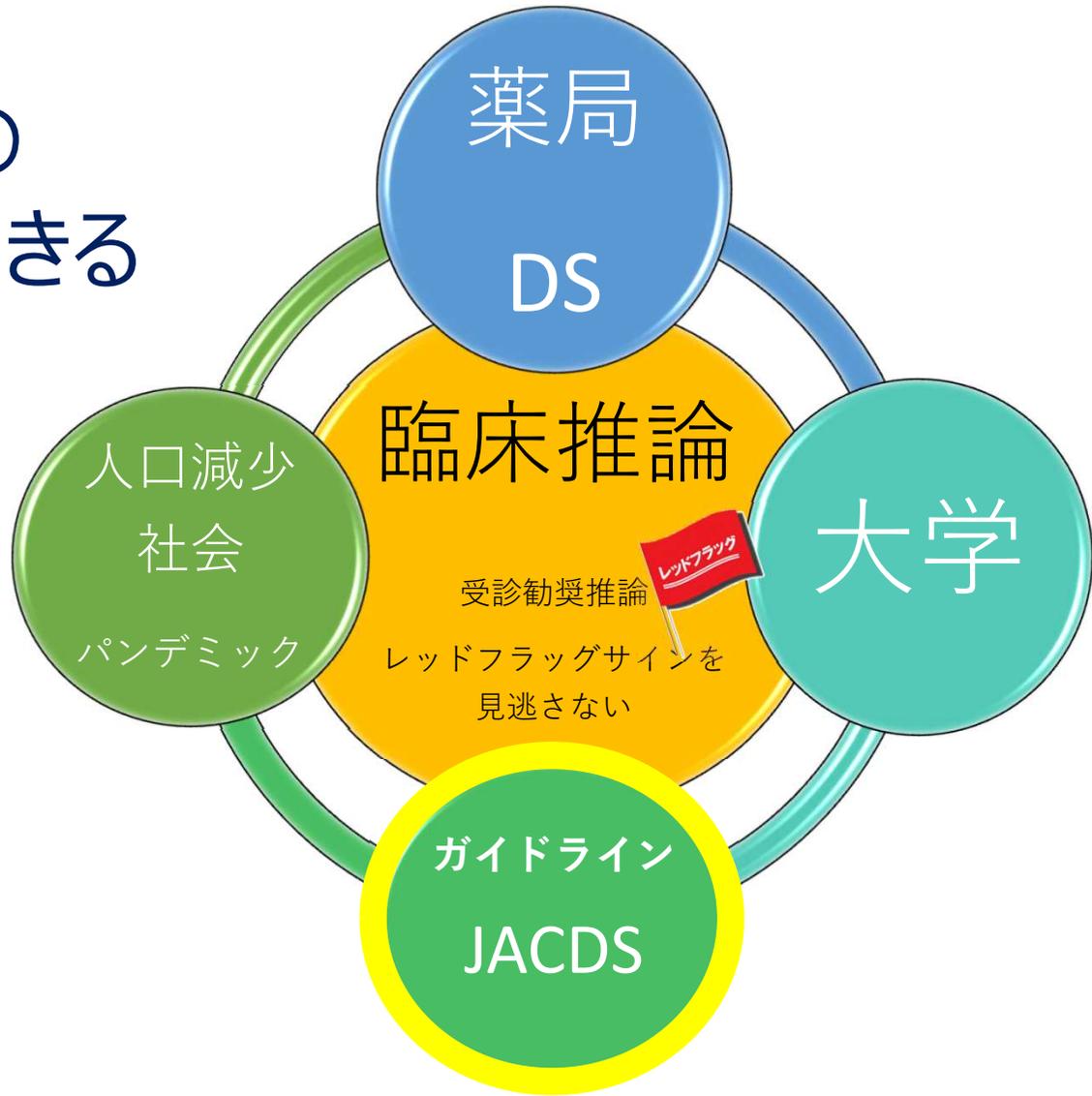
さらなる事例の紹介を

【学生講義の感想まとめ】

- 「非常に分かりやすく**楽しめた**(9件) が最も多く、講義の内容の明快さと楽しさが高く評価されました
- 「ディスカッションや対話が有益だった (6件) も目立ち、双方向型の授業スタイルが学生にとって好評でした
- 「興味深く実践的な内容(5件)、「臨床推論の**重要性**、薬剤師に必須のスキルと感じた」(4件) といった、講義内容の実用性に関する評価も多く寄せられています。



“質の高い” 人としての セルフケアサポートができる 医療者教育



JACDS 版
受診勧奨ガイドライン
第3版：2024年8月1日制定

2022年第1版策定
薬剤師・医薬品登録販売者に向けて
ドラッグストアのOTC提供現場を想定



実証実験における受診勧奨率

	接客数	受診勧奨数	受診勧奨率
咳	357	26	7.3%
鼻水	279	12	4.3%
下痢	144	18	12.5%
腰痛	149	13	8.7%
合計	929	69	7.4%

2) 相談応需から受診勧奨までの流れ

生活者の来店 → 生活者の相談・症状の訴えから情報収集 → トリアージ
→ ①一般用医薬品の販売 or ②医療機関への受診勧奨 or ③生活指導（養生法を含む）

- ①一般用医薬品の販売の場合は、その医薬品のリスク区分に応じた情報提供を行います。
- ②医療機関への受診勧奨は、一般用医薬品での対処が適当ではない場合などに行います。
- ③生活指導（養生法を含む）は、一般用医薬品を使用するほどではない場合などに行います。



3) 受診勧奨状例①

受診勧奨状

令和 年 月 日

.....様

医療機関への受診をお勧めします。受診の際は本文書を担当医の先生にお渡しください。

〔受診をお勧めする理由〕

.....
.....
.....

ご担当医の先生御待史

下記患者様につきまして、症状及び主訴等により医療機関の受診が望ましいと考えられる為、このたび本状により受診勧奨させていただきます。つきましてはご多忙の折恐縮ですが、ご高診ご加療のほど、よろしくお願い申し上げます。

〔氏 名〕
〔生年月日〕 明・大・昭・平年.....月.....日（ 歳）
〔性 別〕 男 ・ 女

〔具体的な症状・主訴・経過等〕

.....
.....
.....

〔その他の伝達事項〕

.....
.....

薬局・ドラッグストア名.....登録販売者名.....[®]

住所.....

電話.....FAX.....

一般社団法人 日本チェーンドラッグストア協会

ワンセンテンスサマリーによる効果的な情報の伝え方

患者から得られた情報を、医師をはじめとした他の医療者や医療機関に伝える際は、ただ闇雲に情報を羅列するのではなく、「この情報で患者の病態・症状・緊急度が伝わるかどうか」を考えることが大切です。

これは一見難しいと感じるかもしれませんが、得られた情報を下の「ワンセンテンスサマリー」のフォーマットに短く落とし込んでみましょう。

① のある ② 歳 ③ 性が、④ 間続く ⑤ を伴う ⑥ で
⑦ で受診。⑧ を認めています。

①関連する既往歴・薬剤歴など

②年齢

③性別

④症状の期間

⑤重要な随伴症状（主症状に伴う他の症状）があれば追加する

⑥主となる症状

⑦どのように薬局に来たか（歩いて、家族に支えられて、など）

⑧重要なバイタルサインの異常や症状/所見があれば追加する



レッドフラッグサイン使用、受診勧奨実証実験データ

※4店舗合計

JACDS
一般社団法人
日本チェーンドラッグストア協会



月度	咳		鼻水		下痢		腰痛		頭痛		その他		合計		カード	
	接客数	勧奨数	接客数	勧奨数	内カード配布	持参来										
3月度	165	9	101	1	18	1	27	0	49	2	199	19	559	32	8	1
4月度	162	10	135	13	20	2	28	0	72	7	191	16	608	48	5	0
5月度	153	19	189	22	19	1	15	1	38	9	228	13	642	65	11	2
3ヶ月計	480	38	425	36	57	4	70	1	159	18	618	40	1809	145	24	3
6月度	96	9	147	25	9	0	10	0	28	3	241	15	531	52	9	9
7月度	107	14	72	13	11	3	18	3	27	2	185	15	420	50	9	9
8月度	95	7	51	2	14	0	15	0	22	1	218	10	415	20	7	7
3ヶ月計	298	30	270	40	34	3	43	3	77	6	644	40	1366	122	25	25

受診勧奨率 8.7% 10.9% 7.7% 3.5% 10.2% 7.0% **8.4%**

JACDS 版
受診勧奨ガイドライン
第3版：2024年8月1日制定

クリニック
地域医師会と連携

- 2023年からガイドラインに基づくトリアージと受診勧奨の実証実験企画、2024年から札幌で開始
- その他は火傷が多い。次いで熱、吐き気・下痢。
- 5月鼻水が多く、北海道の花粉飛散のタイミングが本州と違う
- 季節毎に起こる症状が上位
- かかりつけ医療機関が**無い場合**、クリニック紹介カードを渡して受診勧奨を実施（→地域医師会と連携）

● 集計データのある、3～5月の3ヶ月

ー 受診勧奨数は145件（8.0%）

うち、**カード配布：24件（17%）、来院数：約10件（42%）**

※カード持参数は3件だが、カード持参なく勧奨によつての来院は+月2～3件

医療機関・ドラッグストアのスタッフのやり取り、後の再受診・再来店により、地域生活者の満足度向上、医療機関・ドラッグストアの相互連携意識の向上に寄与

医師の視点から

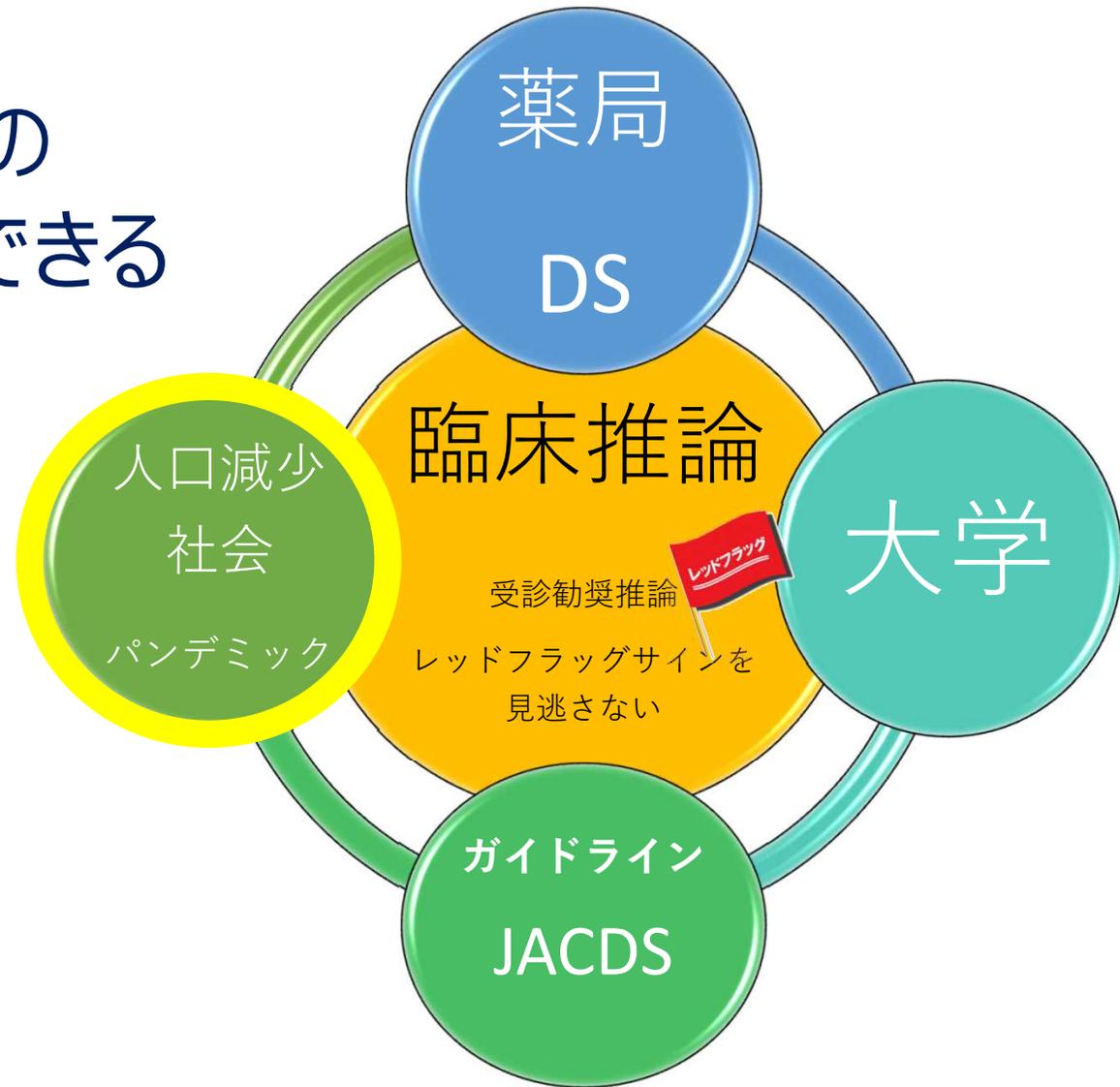
薬局・DSにおける 『質の高いOTC販売』への期待

医療の**周辺環境の変化**を見据えて
医療現場からのメッセージ

1. 加速する**少子高齢化人口減少**
社会：2035年問題と**過疎地**の
医療
2. 気候変動などの影響による**新興**
感染症、大規模災害と、その同
時発生**の懸念**



“質の高い” 人としての セルフケアサポートができる 医療者教育





プロジェクト

札幌市民データに基づいたコロナの情報発信 —ワクチン効果、症状発現率とセルフケア—

受賞者

一般社団法人 Sapporo Medical Academy

所在地 北海道札幌市 電話 090-4879-3271
メールアドレス kiccy1975@gmail.com URL https://kiccysma.wixsite.com/smaweb

取組の経緯

市民一丸となってコロナウイルス感染症2019に立ち向かおう

コロナウイルス感染症2019(以下コロナ)の流行に伴い、市民に感染状況と医療供給体制の情報を的確に伝えることが大切です。

しかし、パンデミックを情報に当てはめたと勘定の違さにより、真偽の判断が医療者にとっても適宜ではない変化も起こり、というこれまでに人間では使用されてこなかったような状況です。

パンデミックとなり、そして上手に付き合います。特に札幌市は、北のメカシティーと対策がより求められます。

多くの市民からの自発的な協力を得るような状況となっているかを迅速かつ感染症の専門家日本では少ない状況と連携することで、10万人前後の市民メカシティーのような協力体制による情報発信は、このように考えます。



コロナ自宅療養 “市販薬使った「セルフケア」浸透を” 専門家

2022年8月2日 15時25分

Weekly analysis 教紙

事業の概要と特徴

札幌市によるコロナとその関連データを分析し、リアルタイムで提示

1. 札幌市のコロナの流行状況およびその特徴を、ウイルスの変化に合わせて市民メカシティーから提供

コロナの流行状況は国や地域により大きく異なります。札幌市ではどのような状況となっているか?区(行政区)や年代ごとでのどのような流行になりやすいかを市民メカシティーから算出し、実効再生産数などを早期からリアルタイムで提供しました。

2. 感染対策の協力体制につながる情報発信を市民メカシティーから提供

変化し続けるコロナの状況、特に重症化率の変化やワクチン接種による変化などを伝えました。これは感染対策の繰返しを調整することに大きく関わります。感染対策の協力体制をつくるために重要な情報と考えます。

3. コロナと付き合っていくための上手な医療のかかり方、特にワクチン効果やセルフケアに関わるデータを市民メカシティーから提供

新しい技術であるmRNAワクチンの効果をリアルタイムで迅速に市民メカシティーから算出しました。また、感染者の年代別症状発現頻度を市民メカシティーから提供し、より具体的な症状への準備方法・対応法を提示しました(当法人のホームページから閲覧可能です)。このような地域データに基づいた情報発信が、各地域がコロナと上手に付き合っていくことにつながる市民一丸となった協力体制作りにつながると思えます。これらの情報を、札幌市のホームページおよび札幌市医師会のホームページから毎週発信しました。

医療のかかり方を変えていくポイント

安心・安全と思えるデータに基づいた医療情報から、上手な医療のかかり方を皆でつくる

コロナに関連した情報に市民は不安をいっばい。特に海外の情報に本当に自分たちに当てはまるのだろうか?という思考は日本において起こりやすい現象です。そのような中、実際の自分たち自身の地域データから、新型のウイルスの特徴や、新技術であるワクチン効果などを算出し、それをもとに地域へ迅速に情報発信することは、患者・家族の不安を少しでも解消するためにとても重要であると考えます。

さらに、札幌市民の10万人前後のメカシティーから、区(行政区)や年代ごとの流行状況や、ワクチン効果・年代別症状発現率データなどを迅速に提供することは、信頼する医療情報として認知されることにつながると思えます。市民メカシティーに基づき、自分たちが住む地域のワクチン効果を提示したことで、上手に接種を推奨することができました。また、年代別症状発現率からセルフケアの準備と対応法、そして受診のタイミングの情報をわかりやすくシンプルに提示されました。コロナに対するセルフケアの学びは、風邪やインフルエンザのセルフケアの学びの底上げにもつながったと思えます。

このような情報発信から、地域ごとの上手な医療のかかり方を、地域住民自らが考え作っていくことができると考えます。そして、感染症の流行で危機的な状況となっている医療現場の改善につながります。これからはますます増えると予測されている新興・再興感染症への市民一丸となった協力体制のひとつのかたちになると考えます。



その上司、「いま風邪ひいても休めないぞ!」とか言っていないか。

平日、勤務時間中の受診を妨げない職場づくりをお願いします。医療の専門家(非)自らの情報発信、発信にしています。本当に一歩も歩かず医療者が、発信にしています。医療現場の改善が実現する。ひと、医療の現場を、みんなの健康を守るために。市民メカシティーから毎週発信しています。

かかり方、変えよう!



厚生労働大臣賞 最優秀賞

患者さんのごと状態を “病態生理” から把握
医療者・患者との良好な “コミュニケーション”

薬学臨床推論

Pharmaceutical Clinical Reasoning

Ver.3

薬剤師のための臨床推論（薬学臨床推論） Pharmaceutical Clinical Reasoning



1. 患者状態を病態生理から把握し、的確な処方提案・受診勧奨ができる
2. 薬の効果にかかわる情報を収集し、病態生理を踏まえて医師・看護師とディスカッションができる
3. 薬の副作用を他の類似する病態も含めて医師・看護師とディスカッションができる
4. 緊急性の高い病態を病歴やバイタルサインから判断できる
5. 医師・看護師に患者情報を的確に伝えることができる

チーム医療の一員として、病態生理からメディカルスタッフ、患者と上手にコミュニケーションができるようになる

臨床推論は医療の“共通言語”

薬剤師のための臨床推論（薬学臨床推論） Pharmaceutical Clinical Reasoning



1. 患者状態を病態生理から把握し的確な処方提案・受診勧奨ができる
2. 薬の効果にかかわる情報を収集し、病態生理を踏まえて医師・看護師とディスカッション
3. 薬の副作用を他の薬との相互作用がわかる
4. 緊急性の高い病態
5. 医師・看護師に患

薬局薬剤師

- 在宅
- 24時間電話対応
- セルフケアサポート
- リフィル（投薬後薬学管理）

チーム医療の一員として、病態生理からメディカルスタッフ、患者と上手にコミュニケーションができるようになる

臨床推論は医療の“共通言語”

臨床推論の**過程**（やりとり）それ自体が
実は一番の**治療薬**



レッドフラッグサインを見逃さない**受診勧奨推論**の教育
を受けた**薬剤師**による
対面による**プロセス**を重視した顔が見える**質の高い**OTC販売を

“きく、よむ、つなぐ”
の

Sapporo Medical Academyは
医療における エンパワメントを 推進します
ご意見ご感想はこちらまで : kiccy1975@gmail.com

オバードーズ問題真の解決の鍵もここに